

アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル (AJ ジャーナル) 2022 年 8 月 第 14 号

編集後記

アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル (AJJ) 第 14 号は、実践報告 1 編、調査報告 4 編、短文 3 編の計 8 編が掲載されています。今号も多様なテーマでの投稿が集まりました。特に、コロナ禍での教育が 3 年目となった今号では、「非同期型ピア・レスポンス」、「オンライン留学」など、学生間をどうつなげるのかについての試みが報告され、今後もこの面での発展が期待されます。

調査報告では、「日本語教師養成課程の教育内容とライティング教育」、「第一言語教育と第二言語でのライティング教育の接続」など、ライティング教育を捉える観点の広がりがみられる他、「留学生のキャリア形成と教師のキャリア観」や「レル敬語の使用実態」に関して興味深い報告がなされています。また、13 号から位置づけの変わった短文には、海外の学習者を念頭に置いた「くずし字教育」や「古典の多読を通じた作文教育」などのテーマが集まりました。

執筆者をはじめ皆様のご理解とご協力のおかげで、このように 14 号が完成しましたことに心より感謝申し上げます。今後も会員の皆様のご投稿をお待ちしております。

(編集委員 M.K. 記)

刊行：2022 年 8 月

編集委員* (**は委員長) ・アドバイザー (五十音順)

*石澤徹 (東京外国語大学) ・*伊藤奈津美 (早稲田大学) ・牛窪隆太 (東洋大学)
*大島弥生 (立命館大学) ・*小笠恵美子 (昭和音楽大学) ・**小森万里 (大阪大学)
鈴木秀明 (目白大学) ・高橋薫 (創価大学) ・*田中信之 (富山大学)
寅丸真澄 (早稲田大学) ・内藤真理子 (電気通信大学) ・藤田裕一郎 (朝日大学)
茂住和世 (東京情報大学) ・*吉田美登利 (東京工業大学) ・*脇田里子 (同志社大学)